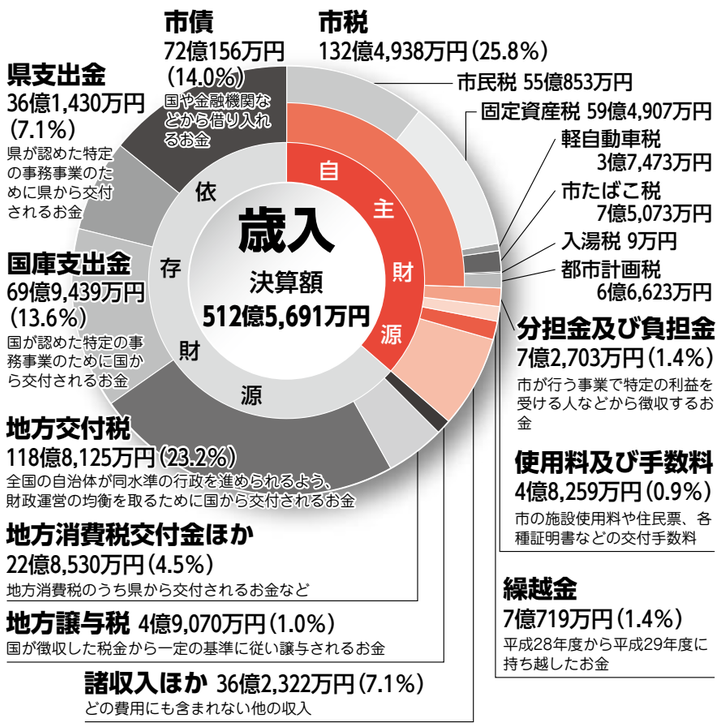
平成29年度決算の概要をお知らせします

問財政課☎32-2020

一般会計



歳入の特徴

◆歳入決算の規模は、平成28年度比12億7,628万円(2.6%)の増

◆市税は、徴収率が平成28年度の96.2%から96.6%に上昇。市民税、固定資産税、軽自動車税の増などにより、全体で1億2,700万円(1.0%)の増

◆地方交付税は、普通交付税3億9,340万円の減、特別交付税9,785万円の増などにより、全体で2億9,555万円(2.4%)の減

◆国庫支出金は、臨時福祉給付金給付事業費交付金の増などにより、3億1,814万円(4.8%)の増

◆市債は、幼稚園再構築施設整備事業や小中学校施設整備事業などにより、9億9,878万円(16.1%)の増

歳出の特徴

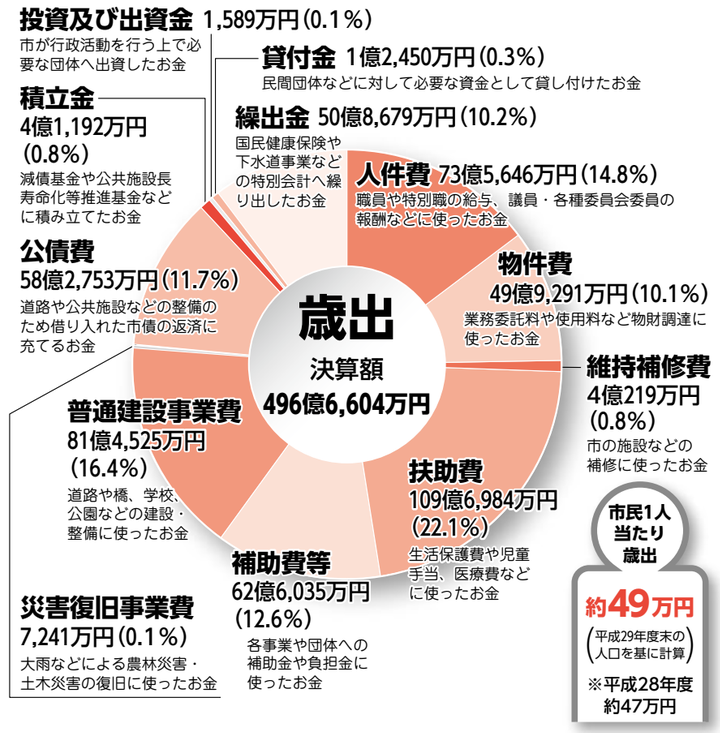
◆歳出決算の規模は、平成28年度比11億9,260万円(2.5%)の増

◆人件費は、退職者数の増加による退職手当の増などにより、3億8,955万円(5.6%)の増

◆扶助費は、保育所運営費や障害者自立支援給付費の増などにより、9,987万円(0.9%)の増

◆積立金は、減債基金や公共施設長寿命化等推進基金などへの積立額の減などにより、5億6,434万円(57.8%)の減

◆普通建設事業は、幼稚園再構築施設整備事業や小中学校施設整備事業などにより、13億7,610万円(20.3%)の増



一般会計目的別歳出

区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
民生費	173億445万円	34.8%	消防費	17億1,337万円	3.5%
教育費	74億4,618万円	15.0%	商工費	16億6,812万円	3.4%
公債費	58億2,776万円	11.7%	諸支出金	5億1,557万円	1.0%
土木費	50億9,539万円	10.3%	議会費	3億8,254万円	0.8%
総務費	44億5,851万円	9.0%	労働費	2億3,745万円	0.5%
衛生費	32億301万円	6.4%	災害復旧費	7,241万円	0.1%
農林水産業費	17億4,128万円	3.5%	計	496億6,604万円	100%

普通会計 預金(基金)と借金(市債)の状況

基金

特定の事業に充てたり、財源不足を補ったりするために積み立てるものです。

平成28年度末残高 125億3,581万円 → **平成29年度末残高 115億2,665万円**

市民1人当たり預金 約11万円(平成29年度末の人口を基に計算) ※平成28年度約12万円

主な基金	年度末残高
財政調整基金	47億1,763万円
地域づくり基金	23億8,293万円
減債基金	6億5,167万円
都市基盤整備事業基金	4億8,452万円
公共施設長寿命化等推進基金	3億8,425万円
人づくり基金	1億8,818万円
地域福祉基金	1億6,887万円
帰ってきんちゃい若人応援基金	1億695万円

市債

一時的なものを除いた借入金のことで、5～30年くらいの期間で返済します。

平成28年度末残高 740億7,200万円 → **平成29年度末残高 753億8,880万円**

市民1人当たり借金 約74万円(平成29年度末の人口を基に計算) ※平成28年度約72万円

主な市債	年度末残高
合併特例事業債	214億9,085万円
臨時財政対策債	207億8,454万円
地方道路等整備事業債	32億5,140万円
過疎対策事業債	30億8,066万円
学校教育施設等整備事業債	16億4,996万円
上水道事業出資債	13億2,103万円
減税補てん債	4億4,227万円

特別会計

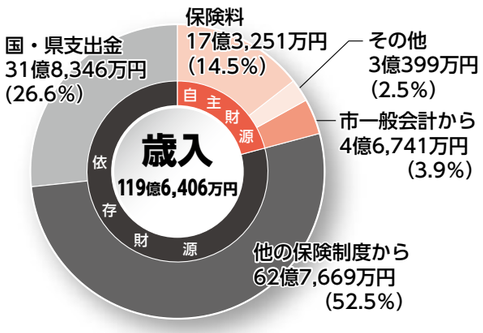
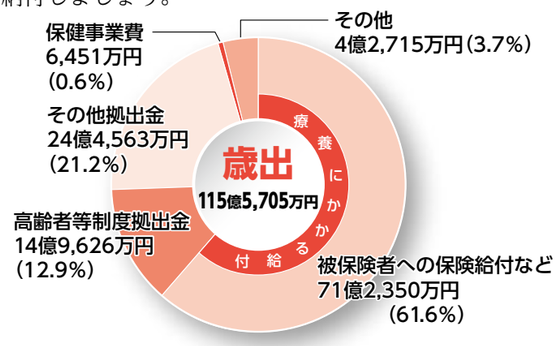
特別会計は、特定の収入（使用料や保険料など）を特定の事業の支出に充てるため、経理を切り離して設ける会計です。

このうち、国民健康保険特別会計について、詳しくお知らせします。

平成29年度特別会計別決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	119億6,406万円	115億5,705万円
介護保険	101億5,688万円	98億5,541万円
下水道事業	50億2,928万円	49億1,585万円
後期高齢者医療	13億3,008万円	13億2,938万円
土地開発公社清算事業	7億2,528万円	7億2,528万円
農業集落排水事業	1億9,407万円	1億8,620万円
食肉処理センター	8,571万円	8,571万円
公共用地取得事業	1,309万円	1,309万円
奨学金	769万円	701万円
磯野計記念奨学金	518万円	0万円

国民健康保険

問保険年金課☎32-2071

国民健康保険特別会計は、保険料と国・県・市の支出金などで賄われています。保険料は医療保険制度を支える貴重な財源です。保険料は納期内に納付しましょう。